

盛岡市まちづくり研究所の概要

1 設置の目的

地方分権の進展に伴い、市の現状及び課題を分析し、緊急度又は優先度の高いテーマについて、大学等の研究機関と共同して研究することにより、新たな政策立案に資するとともに、市職員の政策形成能力の向上を図るものである。

2 研究所設置の背景

(1) 地方分権の進展に伴い、市の現状と課題を分析するとともに、住民ニーズを的確に把握することにより、具体的な政策を立案することが地方自治体に求められている。

(2) 「ローカル・オプティマム」（それぞれの地域が選択する地域ごとの最適状態）を実現するためには、職員の政策形成能力の向上と自治体そのものが事業執行機関から政策立案機関に変貌することが重要であるほか、基礎（学術）と応用（実践）の融合する研究が必要となっている。

(3) 市長が公約として、新県都創造に向けて、平成20年度中に大学等との連携による「シンクタンク」の設立を掲げていた。



盛岡広報キャラクター
『モリィ』まち研ver.

3 研究所の設置方針

平成20年度に盛岡市から岩手県立大学への共同研究の申し入れを受けて、両者が盛岡市まちづくり研究所に関する協定を締結することにより、岩手県立大学が、地域連携研究センター（現 地域連携棟）内にプロジェクト研究所の1つとして、地域づくり研究所（現 公共政策研究所）を設置するとともに、市の市政課題及び新たな政策を共同研究するために盛岡市まちづくり研究所を設置するものである。

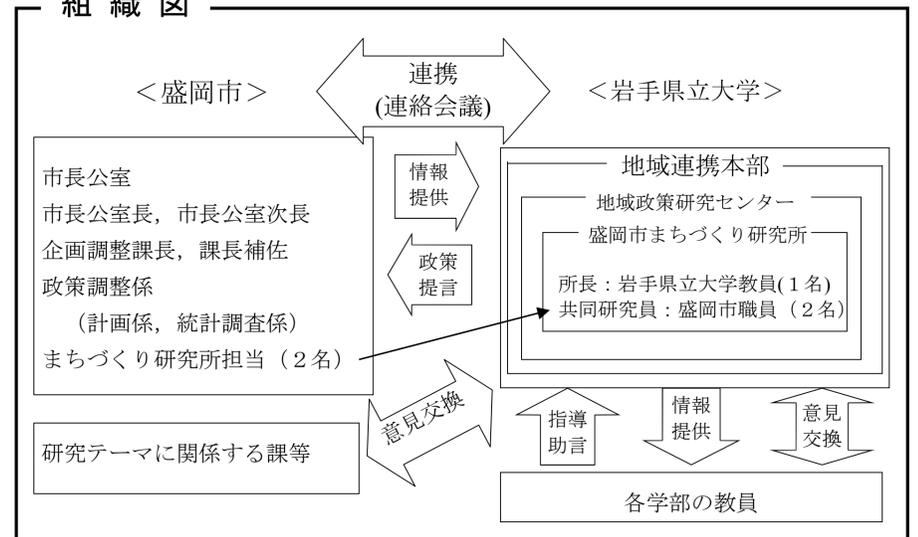


(岩手県立大学（写真左）とまちづくり研究所が設置されている地域連携棟)

4 構成

- (1) 所長 1名
(岩手県立大学総合政策学部
倉原宗孝教授)
- (2) 共同研究員 2名
(盛岡市市長公室企画調整課
まちづくり研究所担当)
- (3) その他 共同研究契約書により市及び岩手県立大学の同意に基づき研究協力者を参加させることができる。

組織図



5 研究テーマ

- (1) H20・21 基礎研究
人口等の統計、市の現状及び課題等政策の企画立案に必要な情報に関する調査分析
- (2) H20・21 個別研究
自治・協働の新たな仕組みづくりについて
- (3) H22 基礎研究
市民経済計算を活用した政策分析について
- (4) H22・23 個別研究
アセットマネジメントによる公有資産保有の在り方について
- (5) H23・24 研究
盛岡市における高齢者支援の今後のあり方について～福祉の多元化と当事者意識との関わりを中心に～
- (6) H24・25 研究
盛岡市における若者世代の活性化に向けた支援の在り方について
- (7) H25・26 研究
盛岡市における社会的企業の展開の可能性について
- (8) H26・27 研究
盛岡市における中山間地域の特性・魅力に関する研究について
- (9) H27・28 研究中
盛岡広域圏における潜在的な地域資源の活用可能性について
- (10) H28・29 研究中
リノベーションによる盛岡市のまちづくりについて